

平成 27 年度アジア大気汚染研究センター一般公開開催報告

2015 (平成 27) 年 8 月 7 日 (金)、アジア大気汚染研究センター (ACAP) は隣接する新潟県保健環境科学研究所と合同で一般公開を開催いたしました。4 回目となります今回は「顔と仕事の見える ACAP」がコンセプト。当センターの施設や測定機器の紹介だけでなく、スタッフが日頃行っている様々な活動について楽しく知ってもらえるよう、一丸となって準備を進めて参りました。結果、定員を上回る計 42 名 (同伴者を含めると計 65 名) 様にご参加いただき、環境問題に関心を持ってもらう良いきっかけ作りができました。



大気汚染とは？ どうして空気が汚れるの？・・・参加型レクチャーに子供たちのユニークな意見も飛び交いました。左上のスライド写真は中国で研究を行っていた若き日の坂本所長とパンダ。当スタッフは日本だけでなく世界を舞台に活躍しています。



レーザー光線を用い、黄砂の観測を行っているのは誰かな？ 左上のライダー?!・・・ではなく、当センターが誇るライダー(右上設備)。



PM2.5 についてはクイズ形式で大きさやその捕集方法について学習。さらに、実際に顕微鏡を用いてミジンコとの大きさを比較。



各測定装置やその測定方法の説明に熱心に耳を傾けてくれる参加者たち。右上は中国出身の李さんと英語堪能な中村研究員。



白衣に着替え、酸性雨が生態に与える影響について学習。全国各地から集めた海水、河川水、雨水のpHをパックテストで調査。



皆さん真剣に実験に取り組んでくれました。参加者には韓国から着任のLee副所長より修了証と当日撮影した記念写真を贈呈。



ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。
また来年度もより一層楽しんでいただけるような一般公開を行います。
皆様にお会いできますことを、スタッフ一同心よりお待ちしております。See you!